

令和 7 年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金 地域福祉推進助成『実施事業自己評価シート』

【受付番号】団体名	【受付番号： 】 団体名：
【助成区分】事業名	☐ 民間団体提案型事業 ☐ 施策推進公募型事業 ☐ 施策推進公募型事業 ☐ 施策推進公募型事業 ☐ 施策推進公募型事業 ☐ 施策推進公募型事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅠ：つながる「居場所」づくり事業 テーマⅡ：地域における18歳以上のヤングケアラー支援事業 テーマⅢ：障がいのある方の文化芸術アーティスト挑戦創出プロジェクト テーマⅣ：地域における子ども食堂支援機関ネットワークモデル事業 テーマⅤ：ひきこもり支援に関する居場所等の社会資源の創出モデル事業 テーマⅥ：地域における多職種連携による相談支援モデルの開発

(1) 評価項目		評価の視点	チェック欄		
			十分	普通	不十分
事業 実施 プロ セス	① 実施体制	1)十分な実施体制により事業を遂行できた。	☐	☐	☐
		2)有効性、実効性のある関係者等との連携・協働ができた。	☐	☐	☐
		3)連携団体等が有するネットワークを活用し、事業実施に必要な情報や課題や成果を共有できた。	☐	☐	☐
		【上記理由】			
	② プロセス	4)交付申請書に記載した事業内容を計画通りに実施できた。	☐	☐	☐
		5)費用対効果の高い効果的、効率的な手法により実施できた。	☐	☐	☐
		6)事業実施中も状況に応じて、継続的に改善に努めた。	☐	☐	☐
		【上記理由】			
事業 成果	③ アウトプット (事業実績)	7)計画どおりに事業を実施し、予定どおりの実績を得た。	☐	☐	☐
		8)予定していた量的な指標を達成できた。	☐	☐	☐
		【上記理由】			
	④ アウトカム (質的成果)	9)利用者等のニーズを満たし、事業目的に照らした成果を得ることができた。	☐	☐	☐
		10)量的、質的に十分な成果をあげることができた。	☐	☐	☐
		11)関係機関との連携・協働の強化、または新たなネットワークを構築することができた。	☐	☐	☐
		【上記理由】			

事業 成果	⑤ インパクト (波及効果)	12)事業実施により新たな利用者の獲得や連携・協働先の確保につながった。	☐	☐	☐
		13)当該事業に係る地域課題や事業の必要性・重要性への関心が高まり、地域や社会に波及すると期待できる。	☐	☐	☐
		【上記理由】			
	⑥ 継続性・ 発展性	14)助成事業の継続・対象地域の拡大、事業内容の充実・発展等が見込める。	☐	☐	☐
		15)事業終了後の継続を視野に入れた実施体制（団体実施体制の確保等）を整えている。	☐	☐	☐
		【上記理由】			
府 課題 設定	テーマ設定 ※施策推進 公募型のみ	・地域福祉課題の解決に寄与するテーマに則した事業となっていたか。 ・予定していた効果・成果を得ることのできる事業遂行可能なテーマ設定となっていたか。 (過大なテーマとなっていなかったか。)	☐	☐	☐

※上記評価項目、事業完了報告書に記載した事業実績、成果・効果などを勘案し、団体による総合評価をしてください。

総合評価 (□にチェック)	☐ S: 非常に高く評価できる（申請した計画以上に実施できた） ☐ A: 高く評価できる（申請した計画通りに実施できた） ☐ B: 一定評価できるが、一部課題がある（概ね申請した計画通りに実施できた） ☐ C: 一定評価できるが、かなり課題がある（申請した主たる計画が実施できなかった） ☐ D: 全般的に多くの課題がある（申請したほとんどの計画が実施できなかった）
------------------	---

※助成事業を実施したことによるメリット、デメリット、その他気づいたことについて記入してください。

※実施事業において、特に難しかったことはどのようなことですか。また、今後事業を継続していくにあたって課題と必要なことを記入してください。